

# ONE HOPE

飼料用とうもろこし専用除草剤

石原 **ワンホープ**® 乳剤

®は登録商標



## 特 長

一年生雑草のみならず、シバムギ、レッドトップなどの  
多年生イネ科雑草までしっかり防除します。

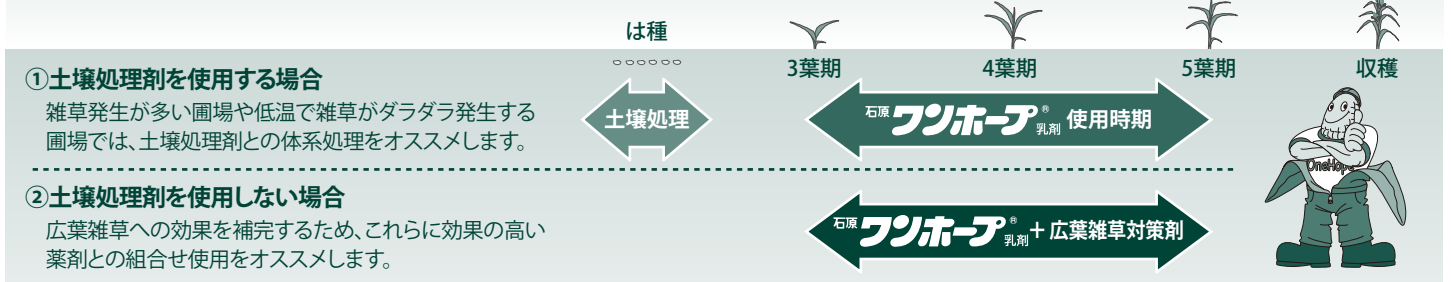
- 飼料用とうもろこしに選択性を持ち、とうもろこし(3~5葉期)の生育期に  
茎葉処理できます。
- ALS阻害により、雑草を枯殺します。  
(薬剤散布後から枯殺までは2~4週間程度時間を要します)
- 茎葉処理剤ですので、土壌条件や処理後の気象条件の影響は少なく、  
安定した効果を発揮します。

登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ニコスルフロンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
飼料用とうもろこし	一年生雑草 多年生イネ科雑草	とうもろこし3~5葉期 ただし、収穫30日前まで	100~150ml	70~100ℓ	1回	雑草茎葉散布 または全面散布	1回

上手な使い方

〔飼料用とうもろこしの生育イメージ〕



とうもろこしに対する安全性

- 使用時期はとうもろこしの3~5葉期ですので、その範囲内で使用してください。
- 高温となる日(最高気温30℃以上)、または乾燥により作物がストレスを受けている状態では使用しないでください。
- 飼料用とうもろこし(デント系、フリント系)が対象です。スイートコーン、ポップコーンには使用しないでください。

散布適期

- 雑草が大きくなりすぎると除草効果が低下しますので、早めの散布を心がけてください。
- 土壌処理効果は期待出来ませんので、雑草発生前には散布しないでください。

殺草スペクトラム

広い殺草スペクトラムを持ち、多くの一年生雑草、および多年生雑草を茎葉処理で同時に防除することができます。

雑草種別	一年生イネ科雑草					多年生イネ科雑草					広葉雑草								
	メヒシバ	オヒシバ	エノコログサ	イヌビエ	カタビラ	シバムギ	レッドトップ	グラス	ジョソソ	リードカナリー	ヒユ類	イヌホオズキ	シロザ	イチビ	タデ類	スベリヒユ	ツユクサ	オナモミ	アサガオ類
薬量 100ml/10a	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	□	□	△	○	○	□	□	□	□
薬量 150ml/10a	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	□	□	△	○	○	□	□	□	□

防除効果◎:極大 ○:大 □:中 △:小

△ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調製前に容器をよく振ってから使用してください。
- 有機リン系殺虫剤との混用および7日以内の近接散布は、薬害を生じることがあるのでさけてください。
- 散布数日後、一時的に退色および生育抑制を生じることがありますが、その後の生育、収量には影響しません。
- 薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布してください。
- 通常の輪作体系では後作に影響はありませんが、本剤処理後短期間に飼料用とうもろこし以外の作物の播種はさけてください。
- 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないよう均一に散布してください。
- 散布前後一週間以内の中耕は、除草効果を低下させるのでさけてください。
- 散布直後の降雨は、効果を低下させるので、天候を見きわめて散布してください。
- 使用后、タンク、ホース、ブーム、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意してください。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣を着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

保管 密栓し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して冷蔵・乾燥した所に保管してください。

- 品種によっては生育抑制を伴う薬害が発生する場合がありますので、使用前に弊社作成の**適用品種一覧**をご確認ください。
- 晩蒔き、二期作品種、極晩生品種に使用しないでください。
- 自家採種トウモロコシには使用しないでください。
- 他剤(ベンタゾン剤、メトラクロール剤)との混用で薬害が強くなる場合がありますので、使用しないでください。なお、その他の薬剤との混用については、弊社までお問い合わせ願います。

最新の適用品種一覧はこちら



- 使用前にラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は2021年3月時点での知見に基づいて作成しています。

ホームページの製品情報へ



取り扱い

ラベルを持って正しくお使いください!  
適用作物、薬量(希釈倍数)、  
使用時期、使用回数を守りましょう  
石原は「食の安全」を大切にします